

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

1. 担当者

—

2. 学校概要

学校名 金沢市立大野町小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒920-0331
金沢市大野町小学校

E-mail : oono-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : [http:// cms.kanazawa-city.ed.jp/oonomachi-e/](http://cms.kanazawa-city.ed.jp/oonomachi-e/)

児童生徒数：男子 87名 女子 91名 合計 178名

児童・生徒の年齢 6歳～11歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか ())
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

本校では、地域の伝統芸能や産業、偉人を主なテーマとして扱い、町の良さを見つけて発信する学習や町の伝統についての学習や伝承を行っている。

（1年生）

生活科の「いきものだいすき」を通して、身近にいる生き物に関心を持ち、生き物探しを行った。普段当たり前のように見ていた生き物に秘密がたくさんあることを見つけた児童は生き物に対する愛着を深めていた。「伝統芸能・学習発表会」では、一人一人がじっくり観察した生き物の様子を元気良く発表することができた。

また、曳山太鼓のお手本を2年生から学んだ。リズムだけではなく、ばちの持ち方や腕の振り上げ方などを具体的に教わり練習に励んだ。次は、来年の1年生に自分たちが伝えるという自覚を持ち伝統芸能・学習発表会を終えることができた。

（2年生）

生活科を中心に、大野町を探検し町の自慢を見つける学習をした。地域の美容院や保育園を訪れ、インタビューを通して地域の方とふれあうことができた。

「伝統芸能・学習発表会」では、グループごとにとっておきの自慢を絵と言葉で声の大きさや絵の見せ方を工夫しながら発信できた。

また、曳山太鼓の学習では1年生に教える中で、自分たちの覚えていることを再確認し、1年生から褒められたことを自信として力強い堂々とした演技につながっていた。

（3年生）

和菓子作りに挑戦した。和菓子作りの名人さんの話や和菓子作り体験を通して、和菓子作りの難しさに気づき、楽しさを味わうことができた。和菓子作りの名人さんが簡単そうにしていることが、実際にやってみると難しく名人さんのすごさを実感した。子どもたちは、そんな素晴らしい人が住む大野町のことますます好きになった。「伝統芸能・学習発表会」では、パワーポイントを通して、和菓子作り体験での子どもたちの生き生きとした表情が伝わってきた。発表する子どもたちも自然と笑顔になり、楽しい発表となった。

また、加賀獅子舞を4年生から学んだ。特に動きの複雑な刀は、4年生から必死に学ぼうとする姿があった。その後、地域の方からも動きについて学んだ。発表会では、初めてなのにとっても上手に演技をすることができた。

（4年生）

「大野弁吉（地域の偉人）」を調べる学習を行った。子どもたちは家族や昔のことをよく知っている人から聞き取りを行った。また、「大野からくり記念館」へ全員で見学に行き、学習を深めた。大野弁吉という人物の豊かな人間性やその発想の豊かさに児童は心動かされていた。

さらに、この学習経験を活かし一人一人が「私の調べた金沢の伝統工芸」を

まとめ、発表する学習も行った。「華やか金沢」で金沢の伝統工芸について基本的なことを学び、その後、調べ学習を深めパワーポイントも一人一作品を作成した。

(5年生)

大野町の基幹産業である「醤油作り」を調べ、挑戦した。大野町にはたくさんの醤油屋さんがあり、醤油にもいろいろな種類があることを知った。また、醤油工場を見学し、醤油ができるまでには継続的に手間を掛ける必要があることを学んだ。「伝統芸能・学習発表会」へ向けては、一人一人がパワーポイントを使って発表の準備をした。

また、豊年太鼓・早打ち太鼓を6年生から学んだ。太鼓の胴をたたくことやばち同士をたたくタイミングなどを体で覚え、力強く演技を行った。

(6年生)

大野町の良さをガイドブックやCMにまとめて発信した。子どもたちは、これまでの六年間の学習や生活経験から得たものを基盤として大野町を見つめた。そして、他の地域に誇れる大野町のよさをまとめることができた。そうしたものをもとに戸板小・朝日小・花園小との学習交流を行った。「伝統芸能・学習発表会」では、それらの交流を生かして、分かりやすくよさを紹介することができた。

また、現在の中学1年生から昨年2月に学んだ悪魔祓いを発表した。今年度は保存会の方からも教えを受け、伝統を正しく受け継いでいこうとする自覚を持ち発表会での演技や5年生への伝承ができた。



活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。
- 効果的な活動ができ、満足。
- 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

別紙参照

教育の質の向上に効果のあった活動

(1) 地域の方々との交流

今年度の学習でも、多くの地域の方々を講師として招き学習を進めることが

